

にちりゅうぶじ
⑬日竜峯寺本堂

(岐阜県重要文化財 下之保)

日竜峯寺の本堂は山腹の斜面地に建てられており、京都の清水寺と同様の懸造りをもつことから「美濃の清水」と呼ばれ、市民から親しまれています。南に面して建ち、大きさは間口6間、奥行5間、一重の入母屋造りで、屋根は檜皮葺です。正確な創建年代はわかりませんが、高欄の擬宝珠に「延宝二年」(1674年)の銘があることから、この頃に建てられたものではないかと考えられています。



関の文化財探訪

その8

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

⑬⑭
★



くうでん
⑭日竜峯寺宮殿 (岐阜県重要文化財 下之保)

本堂の厨子である宮殿には本尊の千手観音菩薩立像が祀られています。宮殿は間口1間、奥行1間の禅宗様です。入母屋造りで、屋根はこけら葺となっています。全体が極彩色に塗られていて、現在も鮮やかに残っています。築造年代は棟札から天文3年(1534年)に造られたことがわかっていて、本堂よりも古く、日竜峯寺の創建年代を考える上で非常に重要な建物といえます。

豆知識

禅宗様——鎌倉時代に中国の宋から禅宗と共に伝わった仏教建築様式のこと、屋根の軒の反りが大きいことなどが特徴です。

【アクセス】

関市自主運行バス・岐阜バス「高沢観音口」下車、徒歩30分
東海環状自動車道富加関 IC から主要地方道関金山線を車で20分